

軟式野球チーム『多久クラブ』

▼10月9日嬉野市轟球場で優勝旗と賞状を持って記念撮影

マルエス旗県生涯軟式野球選手権大会
で初優勝！

『多久クラブ』は、野球愛好家でつくる軟式野球チームで、クラブ員は現在57歳から75歳まで総勢37人です。水曜日と日曜日の週2回、午後3時から北多久運動広場で練習に励んでいます。クラブの目的は、軟式野球を通してクラブ員の体力の維持と、スポーツマン精神に則り、生涯現役をモットーに、会員相互の親睦と健康増進を図ることを第1としています。

還暦軟式野球大会やさがねりんピック軟式野球大会など、年間6大会に出場しています。今までは3回戦ぐらいまでしか進めませんでした。10月2、9日嬉野市で行われた第7回マルエス旗県生涯軟式野球選手権大会では13チームが出場し、初優勝することができて嬉しかったです。

これも毎回の練習にランニングや柔軟体操を取り入れ、バント・ヒットエンドラン・盗塁などの練習や実践シートノックもしてきた成果だと思います。生涯スポーツとして野球を愛し頑張っていますので、興味のある方は参加をしてください。

代表 山口信好 ☎75-6882

●連載9● 郷土資料館で学ぶ多久の歴史

いしがんとう
『多久の石敢當』

石敢當とは交差点や突き当りなどに置かれた魔よけの石碑です。中国で8世紀ごろから作られるようになったものが沖縄に伝わり、それから北上して遠くは北海道まで全国各地に広がっています。佐賀県では十数基確認され、多久市にも2基が存在します。今回紹介するのは、別府の交差点に設置されていた石敢當です。

30センチほどの高さに「石敢當」と彫られた石柱は江戸時代後期に作られたと思われ、交差点を行き来する魔物を追い払う魔よけとして設置されていました。「石敢當」という名前やその意味については、敢當（當＝当、敢えて当たる、無敵の意）という言葉に魔力を持つ石

に刻むことによって魔よけとした、または古代中国の勇士の名であるともいわれています。

交差点に立って往来を見つめてきた石敢當はたびたび交通事故に遭い、破損のおそれがあるため現在は郷土資料館で保管・展示しています。



◀東多久町別府の石敢當

『多久市郷土資料館』

開館時間 / 9時～16時 入館 / 無料

休館日 / 月曜日(月曜が休日の場合は開館し翌火曜休館)

■問い合わせ 多久市郷土資料館 ☎75-3002

市民文芸

短歌

《麦の芽短歌会 互選》

わが庭につわぶき灯れば思ひ出ず

師の歌碑鎮座す 福泉寺の秋

文化祭あの人この人いつの間に

歌に踊りに芸事深し 内田 龍子

川古の大楠 久方に訪えば一段と

風格を増す 蒼天の日に 田淵ミチ子

若き日は声の出し方わからずに

四苦八苦した 民謡教室 迎 寿代

朝露のかかり来れば裏庭に

はやけたたまし 百舌の声たつ 福島那智子

川浪 信子

俳句

《あざみ句会 互選》

無住寺にひそと紅あり 寒椿

普明寺の石段崩る 石路の花 田中あつ子

語らうも黙すも二人秋の夜

秋日差す地蔵の眼やさしかり 武富りつ子

紅葉散る 城門脇に 片番所

光野 正子

中尾 和弘

大石ひろ女

川柳

《多久市川柳会 互選》

喜びも悲しみも越え 除夜の鐘

友と会う 嬉しき過ぎて 忘れ物 西山 残月

新車買う 靴を脱がして 試乗会

古井のぶこ

冬景色 ポチに元気をもらう

朝 大谷 和

井上 東子

新年は健康維持で 暮らしたい

峯 ヒサエ